

防災ミニ教室に参加して

本県でも8月に「線状降水帯」が発生、南越前町で大規模な土砂災害に見舞われ、たほか各地で河川が増水しました。

「防災ミニ教室」では、自然災害の様々な現状とメカニズムを学んでいます。線状降水帯も先生役の竹田周平福井工大教授から何回も説明を

線状降水帯の怖さ 身近に

受けました。今回、積乱雲が相次いで発生する自然災害の怖さを身近に感じました。

能登半島でも地震が発生しています。肝心なのはとにかく災害に備える心構えです。「防災ミニ教室」ではあらゆる災害を知ることで被害を予測し、命を守るための大切さを勉強するためにぜひ、参加してほしいものです。

さらに降雨と河川の水位のピークが15時間の差があることも九頭竜川の水位の変化から読み取ることができました。

予知し、命を守るための大切さを勉強するためにぜひ、参加してほしいものです。

地引網体験

珍魚も獲れたよ！

4年ぶりの地引網体験会が7月10日、小学生41人、幼児14人、保護者、スタッフら116人が参加して浜地海水浴場で開かれました。

浜地地区の皆さんの協力で前日沖合約200mに張った網を子どもたちがヨイシヨ、ヨイシヨとゆつくりと引き揚げました。網が砂浜近づくと子どもらはどんな魚が入っているか興味しんしん。引き揚げた網の中にはマダイやオコゼ、この海で捕れるのは珍しい1mもある「ハモ」などい



るいろいろの魚の姿が。子どもたちは大きな魚を恐る恐る手で持ち上げ、「すごいなー」と

歓声を上げていました。最後に松島水族館の方が、魚の名前や特徴などを詳しく説明、捕れた魚は希望者が分けて持ち帰りました。

みんなのアサガオをグリーンカーテンに

三国北小からコミセンへ

三国北小1年生56人が育てたアサガオの苗を6月9日、コミュニティセンターに届けてくれました。

コミセンに訪れた児童らはまち協役員や生活環境部会メンバーと一緒にプランターに苗



を丁寧に植え付けました。植え終わると児童らは「私たちのアサガオをよろしく」と声を合せてあいさつ、暑さでパテ気味のアサガオには「大きくなあれ」「ガンバレ」など声をかけました。

児童らのはげましの声が届いたのでしょう。日ごとに元気になったアサガオはつるを伸ばし、コミセンのグリーンカーテンには赤・青・紫などの花が咲きみんなの目を楽しませていました。

夏休み「ラジオ体操」で健康づくり

コロナ感染拡大や少子化で実施する地区が減っている「夏休みラジオ体操」が南小、北小校下の子ども会、町内会で行われました。早朝の爽やかな空気を胸一杯に吸って、近所のお年寄りも加わり、健康づくりに汗を流しました。



つづやき

今年4年ぶりに地引網体験が開かれました。前日は雨。当日も受付時は雨で開催を心配しましたが、始まるころには雨もあがり地引網日和となりました。三国に住んでいて海はとも近いのに普段なかなか海まで来る機会もなく、久々に波の音を聞いて癒されました。

近くにあるものほどその存在を当たり前にしてしまいがちですが、こんな美しい海の近くに住んでいることは稀有で貴重なことなんだなーとあらためて思いました。よしっ！海までウォーキングを日課にします！

(…涼しくなったの) (希)

みんなのくふうでにぎやかに…
楽しく一緒にまちづくり
みくにの魅力プラス!!



まち協だより 64号 発行 22.9.15



たくさんの方が参加した地引網

編集 みくに地区まちづくり協議会
事務局 三国コミュニティセンター内
坂井市三国町神明1丁目4-20 ☎82-6400
mikuni-k@mx3.fctv.ne.jp

- 防災ミニ教室
- 歴史散策
- まちなかサロン

ハッピー・ハロウィン魔法の地図

10月15日(土) 午後1時30分～

14回目を迎えたハッピー・ハロウィン魔法の地図は10月15日(土)に行います。コロナの感染対策を考慮し、昨年と同じく規模を縮小、参加者は三國南小、三國北小校区の子どもらに絞らせていただきます。



内容はお菓子チェックポイントを回るクイズ形式。コミュニケーションをターゲットし街なかを散策しながら全問正解を目指します。

また、お手伝いをする中学、高校生のボランティアの募集もしますので、ぜひ応募してください。今年もいろいろな仮装をしながら、ハロウィンを楽しんでください。

気軽に参加を

シバザクラ植栽 11月5日(土) 午前8時～



汐見公園のシバザクラ植栽事業、昨年の植栽作業にはまち協メンバーとボランティアの計150人の参加がありました。多方面からご支援いただくようになり、大きな励みになっています。



今年度の植栽は11月5日(土)、大野市のシバザクラの里実行委員会が育てた苗500株の植付けとシート張替えによる植替えを予定しています。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

■カンタケ栽培講習会 11月28日(月)

歴史散策アンコール

10月23日(日) 午前9時～

6月11日に4の部で実施した歴史散策アンコールを希望する声に呼んで10月23日に再度、歴史散策を行います。



神明社から瀧谷寺門前、思案橋等をガイドと巡回。住んでいながら自分の地域に意外と知らない三國があることを再認識する絶好の機会となりました。

また、だれも知らないような小さな路地を探索する「知らない路地めぐり」を1の部、2の部で実施。参加した親子らは、たくさん発見にひるさと良さを感じていました。

ディスクゴルフのつどい

10月30日(日) 午前9時～

毎年恒例の「ディスクゴルフのつどい」を10月30日(日)、三國海浜自然公園で開催します。



ボールのかわりにディスクを投げ、専用のゴールに投げる回数競争ゲーム。子どもからお年寄りまで、スポーツが苦手な人も簡単に楽しめます。秋の空の下、和気あいあいとゲームを楽しみつつ、心と身体の健康づくりにぜひ、ご参加ください。

ふれあいの輪、広げよう

みくに節のれん10種類を展示



10種類の歌詞を一堂に集めた「みくに節のれん」の展示会が9月20日まで、三國コミュニティセンター

9月20日まで センターギャラリーで開かれています。歌詞によって文字の大きさを変えたり、斬新なデザインに仕上げ、いろいろなれんが楽しめます。また、のれんの頒布に応募し当選した住民らがまち協へ訪れ、真新しいのれんを手にしながらい「早く玄関先に飾りたい」と笑顔を見せていました。「三國のれんで笑顔」の写真も募集しています。

防災ミニ教室

延期となりました8月6日の防災ミニ教室②(体験型避難行動)は開催日が決まり次第、お知らせします。

- 今後の防災ミニ教室実施予定日
- ・10月2日
- ・12月4日
- ・2月12日
- (いずれも日曜日)

いずれの行事も詳細はCOM+にてお知らせします。お問い合わせは三國コミュニティセンターまで。

まちなかサロンで交流の笑顔

毎週水・木曜日に開いている「まちなかサロン」で7月6日、七夕のつどいが行われました。

七夕や民族楽器の音色楽しむ

「コロナが一日も早く終息するように」「元気で長生き」との願いをこめて千羽鶴を折り、心ひとつとつなげ、祈りをこめて飾りました。

また、まちなかサロン近くの民族楽器屋「ココペリ」のオーナーご夫妻が世界の民族楽器を使ったブチ演奏会を開き、参加者は聞きなれない珍しい音色に聴き入っていました。このブチ演奏会は今後、月1回程度行われる予定です。



「ココペリ」のオーナーご夫妻による民族楽器ブチ演奏会

みくに大好きプロジェクト スタッフ募集

再発見のお手伝いを

みくに地区まちづくり協議会は「みくに大好きプロジェクト」を立ち上げ、参加スタッフを募集しています。三國をだれもが好きになってもらう企画をするためのアイデアを出しても

らい、より地元に着目した活動を展開しようというものです。三國の隠れた風景を探したり、美味しい食べ物を紹介、さらに隠れた歴史を発掘、今後の活動に生かしていきます。

特に女性や若い人の目から見た三國の魅力をどう発信していくかが課題で、若い人がスタッフに参加することで、新しい活動が生まれると期待しています。

出村北前茶屋ふれあいイベント ～竹世志会 粋な演奏会～



出村北前茶屋では「つながる・楽しむ・ささえ合う」をテーマにしたふれあいイベントに7月15日から「竹世志会」(長沼慶江さん代表)が加わりました。

「粋な演奏会」と題して三國に息づく伝統芸能の魅力、北前船で栄えた花街出村の風

情を小唄、端唄、民謡、三味線で演奏。訪れた人に三國ならではの音色を披露しました。竹世志会は毎月第1・3金曜の午後1時30分から出演します。また第2・4金曜日には軽音楽ライブがあり、憩いとふれあいの場にぜひ足をお運びください。

地域の憩いの場